

農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

緩衝帯の設置等の生息環境管理を行いながら、町内ほぼ全ての農地に電気柵+ワイヤーメッシュ柵の複合柵を設置したことで、対象獣種の農作物被害が激減。併せて、ICT機器を活用した捕獲活動に取り組んでおり、捕獲頭数も年々増加。

しちかしゆくまちのうさくもつゆうがいちようじゅうたいさくきょうぎかい

七ヶ宿町農作物有害鳥獣対策協議会

（会長：小関^{こせき こういち}幸一）

かつたぐん しちかしゆくまち

宮城県刈田郡七ヶ宿町

主な取組

- 侵入防止柵の設置について、町民の高齢化と担い手不足により作業できる人数に限りがあったことから、「いのししバスターズ」と銘打ち町外から援農ボランティアを募集して、町内の農地周辺で侵入防止柵の設置を行い、関係人口が拡大（3年間で延べ75人）。
- 地域の被害及び被害対策状況を取りまとめた集落マップの作成にあたっては、センサーカメラ及びGPSによる生息状況調査を実施し、GISを活用して情報を集約し、調査状況等の見える化を実施。
- 令和3年度に「みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション推進事業」を活用し、鳥獣被害対策の分野でのDX計画書を作成し、町内の鳥獣被害対策のデジタル化への方向付けを行い、4年度は、鳥獣被害対策に関わるデータの見える化を推進。

【侵入防止柵の総設置距離：10,706m（平成30年度）→55,101m（令和3年度）】